

日本史B 47 経済発展と雄藩 ()組()番 名前()

1	もともと農村にあった、原料や道具ともに自分持ちで、麻、木綿、絹を地機で織る生産形態を何とといいますか。	
2	18世紀の農村に広まった、問屋が資金・原料を農民に渡し、製品を買い取ると行った生産形態を何とといいますか。	
3	問屋などが自分の作業場(工場)に賃金労働者を集め、分業と協業で手工業生産を行う生産形態を何とといいますか。	
4	寛政期(③家光のころ)に諸藩では、特産物の(A)を強化し、人材育成のため(B)が設立されましたか、A、Bを答えなさい。	A B
5	C熊本藩主細川重賢、D米沢藩主上杉治憲(鷹山)、E秋田藩主佐竹義和が建てた藩校をそれぞれ答えなさい。	C D F
6	天保期(水野忠邦のころ)に琉球貿易を強化(黒砂糖)し、財政再建に成功した薩摩藩の家老は誰ですか。	
7	さらに軍政改革や洋式工場の建設など藩の近代化に着手した薩摩藩藩主は誰ですか。	
8	天保期(水野忠邦のころ)に蠟や紙の専売に成功した長州藩の家老は誰ですか。	
9	天保期(水野忠邦のころ)に反射炉(製鉄)を建設し、大砲の製造を可能にした肥前(佐賀)藩の藩主は誰ですか。	
10	これら藩政改革に成功した藩は幕末に強い発言権をもちますが、このような藩を何とといいますか。	